



KONICA MINOLTA

コニカミノルタホールディングス株式会社
2012年(平成24年)3月期 第1四半期 株主通信 PDF

コニカミノルタ ホールディングス株式会社

2012年(平成24年)3月期 第1四半期 株主通信

業績予想などに関する内容について

この株主通信に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの株主通信の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2012年3月期第1四半期の連結業績の概要をこのウェブサイトを通じてご覧いただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第1四半期連結累計期間(2011年4月1日から同年6月30日までの3か月)における当社グループの業績は、売上高は1,862億円、営業利益は32億円、四半期純損益は1億円の損失となりました。売上高では、対USDドルの為替レートが前年同期に比べて10円を超える大幅な円高となったため、為替換算によるマイナス影響を強く受けました。営業利益では、売上高減少や円高の影響に伴う売上総利益の減少に加え、研究開発費や直近に実施した企業買収に伴う固定費およびのれん償却など、成長のための投資活動に関わる費用が先行して発生し、一時的に収益を圧迫しました。また、四半期純損益では、株式市場の低迷に伴い保有有価証券の減損損失を計上したことなどが影響しました。

事業別に概観しますと、情報機器事業では、A3複合機(MFP)の販売台数は概ね前年同期並みの水準を確保し、また、プロダクションプリント機は昨年後半に投入したカラー機の新製品が牽引して当期間の販売台数は前年同期を上回りました。オプト事業では、広幅、薄膜タイプの液晶偏光板用TACフィルムの販売は好調に推移しましたが、昨年夏から始まったデジタル家電全般における生産調整の影響が長引くHDD用ガラス基板や光ディスク用ピックアップレンズなどの販売は全般に伸び悩みました。ヘルスケア事業では、新製品を投入した医療用デジタル入力機器は前年を上回る販売台数となりましたが、一方でフィルム製品の販売減少が続きました。

当社グループは、2011年4月、将来にわたって持続した成長の実現に力点を置き、「Growth(成長)」をキーワードとして中期経営計画中期経営計画『Gプラン2013』をスタートさせました。2011年度から2013年度の3か年の取り組みの基本方針は、1)成長の実現による規模の拡大、2)真のグローバル企業への進化、3)コニカミノルタブランドの認知度向上、の3点です。さらに、この「Gプラン2013」に連動させて、コミュニケーションメッセージ「Giving Shape to Ideas: 革新はあなたのために」を新たに策定しました。ここには、お客様が考え、求めているものをお客様の視点で見つめ、そしてそれをかたちにする実行力・実現力のある企業としての強い意志を表しています。この旗印の下、わたしを含めて社員ひとり一人の責任ある行動を「Gプラン2013」で描く成長の実現に繋げることで、当社グループが「力強く成長を続け、社会から必要とされる企業」となることを目指していきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともコニカミノルタへの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年9月

コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長
松崎 正年

ハイライト

(単位:億円、未満切捨)

	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	増減
売上高	1,862	1,946	△84
営業利益	32	98	△65
経常利益	25	64	△38
四半期純利益(△は損失)	△1	34	△36



(単位:億円、未満切捨)

	2012年3月期 第1四半期末	2011年3月期末	増減
総資産	8,331	8,454	△123
負債	4,100	4,164	△64
純資産	4,231	4,289	△58



ハイライト

(単位:億円、未満切捨)

	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	119	74	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	△87	△26
フリー・キャッシュ・フロー	6	△12	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	△28	13

情報機器事業は費用増、オプト事業は調整の影響を受けて減益

売上高	1,862 億円 (前年同四半期比 Δ 4.3%) (為替影響除く Δ 0.7%)	営業利益	32 億円 (前年同四半期比 Δ 66.8%) (為替影響除く Δ 58.5%)
経常利益	25 億円 (前年同四半期比 Δ 60.2%)	四半期純損益	Δ1 億円 (前年同四半期比 Δ 36億円)

情報機器事業では、円高による為替換算の影響があり前年並みの水準となりましたが、カラー新製品を投入したプロダクションプリント分野では前年を上回る販売台数となりました。オフィス分野でもA3複合機(MFP)の販売台数は概ね前年同期並み水準を確保し、為替影響を除く売上高は+5%と伸長しました。営業利益は、円高の影響や研究開発費の増加およびIT企業の買収に伴う費用増などにより、減益となりました。

オプト事業では、液晶偏光板用TACフィルムの販売数量が前年同期を上回ったものの、光ディスク用ピックアップレンズやHDD用ガラス基板は、昨年夏以降のデジタル家電全般における生産調整の影響が長引き、当期間の販売数量は前年同期を下回り、減収減益となりました。

ヘルスケア事業では、デジタルX線画像診断領域において新製品を国内外の医療施設に向けて発売を開始するなど、デジタル入力機器を中心としたネットワーク機器やサービス・ソリューションビジネスの販売拡大に注力しましたが、フィルム製品の販売減少や銀など原材料価格の高騰もあり、減収減益となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

売上は増収ながら、成長の実現に向けた先行費用が発生し減益



オフィス分野	「bizhub (ビズハブ)」シリーズのA3MFPの販売台数は概ね前年同期並みの水準となりました。また、グローバル規模で体制整備に取り組むOPS(Optimized Print Services)では、ドイツの自動車メーカー大手のBMW社から欧州内の事務機運用管理を受託するなど、実績が積み上がってきました。さらに、当サービスの核となるITサービス力の強化を図るため、昨年12月に米国で買収したAll Covered社に続き、欧州では本年4月にスウェーデンのKoneo社を、5月には米国のTechcare社を相次いで買収しました。一方で、これらIT企業の買収に伴う固定費やのれん償却、研究開発費など先行的な費用発生により経費が増加しました。
プロダクションプリント分野	昨年後半より「bizhub (ビズハブ) PRESS」の新ブランドのもと「bizhub (ビズハブ) PRESS C8000/C7000/C6000」のカラー新製品3機種の販売を開始し、企業内印刷やプリントショップへの拡販に加え、デジタル商業印刷市場の本格開拓に着手しました。欧米を中心にこれら新製品に対する評価は高く、当期間の販売台数はカラー機、モノクロ機ともに前年同期の水準を上回りました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

生産調整の影響が長引き、TACフィルム以外は低調な推移となり、減収減益



ディスプレイ材料分野	当社が強みとする視野角拡大用VA-TACフィルムは、本年初頭から新製品の本格展開により販売数量を大きく伸ばすとともに、薄膜タイプやIPSパネル用のTACフィルム新製品も堅調に推移し、当期間のTACフィルム全体の販売数量は前年同期を上回りました。
メモリー分野、 画像入出力コンポーネント分野	メモリー分野では、昨年夏以降のデジタル家電全般における生産調整の影響が長引き、光ディスク用ピックアップレンズはブルーレイディスク用が前年並みの水準を確保したものの、DVD用が前年同期の水準を下回りました。一方、HDD用ガラス基板も当期間の販売数量は前年同期を下回りましたが、当期間半ばあたりから市況に回復感がみられるようになりました。 画像入出力コンポーネント分野では、デジタルカメラやカメラ付携帯電話向けのレンズユニットの販売は総じて前年同期の水準を大きく割り込みました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

デジタル機器販売は伸長するも、フィルム製品の販売減少や原材料価格の高騰により減収減益

売上高

155 億円(前年同四半期比 Δ 26.2%)

営業損益

 Δ 5 億円

当事業では、デジタルX線画像診断領域において「AeroDR(エアロディーアール)」および「REGIUS Σ (レジウス シグマ)」といったDR(デジタルラジオグラフィー)やCR(コンピューテッドラジオグラフィー)の新製品を国内外の医療施設に向けて発売を開始するなど、デジタル入力機器を中心にサービス・ソリューションビジネスの販売拡大に注力しました。これらDRやCRの新製品に対する市場からの評価は高く、販売開始以来多くの引き合いもあり、当期間のデジタル入力機器の販売台数は前年の水準を上回りました。一方で、フィルムレス化が進行する中でフィルム製品の販売減少が続きました。営業損益では、売上減少による利益減に加え、銀など原材料価格の高騰による影響を受けました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。



流動資産は、売上高の減少に伴い、前期末に比べ売上債権が減少しました。

固定資産は、情報機器事業におけるIT企業の買収などにより、のれんが増加した一方で、全体に償却が進んだことや、投資有価証券の株価が下落したことにより減少となりました。



負債は、短期借入金が増加した一方で、仕入債務や賞与引当金が減少しました。

純資産は、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少に加え、円高による為替換算調整勘定の変動により減少しました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

経営関係



コニカミナルタグループ 中期経営計画「Gプラン2013」発表

詳細情報 : http://www.konicaminolta.jp/about/investors/plan/index.html#anchor_plan2013



スウェーデン Koneo AB、米国 Techcare社を買収

プレスリリース (Koneo AB) : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0411_01_01.html

プレスリリース (Techcare) : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0519_01_01.html



グローバルな社会的責任投資(SRI)「FTSE4Good Global」インデックスに8年連続採用

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0407_01_01.html

事業関係



BMW社、DB Schenker社とbizhub供給のグローバル大型契約を締結

プレスリリース (BMW) : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0622_02_01.html

プレスリリース (DB Schenker) : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0622_01_01.html



クリニック向け卓上型CR「REGIUS Σ (レジウス シグマ)」新発売

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0427_03_01.html

製品情報 : <http://www.konicaminolta.jp/healthcare/products/cr/regius-sigma/index.html>



LEDを用いた魅せる棚板「クリスタル照明棚板」で福島工業と提携

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0614_01_01.html



蛍光分光濃度計「FD-7」、欧州で「ポズナン国際展示会」金賞、中国で「リングエー技術革新賞」受賞

プレスリリース (1) : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0425_01_01.html

プレスリリース (2) : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0728_01_01.html

<製品情報>

FD-7/FD-5 : <http://www.konicaminolta.jp/instruments/products/color/fd7/index.html>



「コニカミナルタプラネタリウム“満天”」リニューアルオープン

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0119_02_01.html

施設情報 : <http://www.konicaminolta.jp/manten/index.html>

CSR関係



「コニカミノルタCSRレポート2011」を発行

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0622_03_01.html

CSRレポート : <http://www.konicaminolta.jp/about/csr/csr/download/2011/index.html>



被災地復興支援のため「REGIUS Σ」などの医療画像診断システムを無償貸与

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0627_01_01.html

<製品情報>

REGIUS Σ : <http://www.konicaminolta.jp/healthcare/products/cr/regius-sigma/index.html>

REGIUS MODEL 110 : <http://www.konicaminolta.jp/healthcare/products/cr/regius110/index.html>

SONIMAGE 613 : <http://www.konicaminolta.jp/healthcare/products/us/sonimage613/index.html>



複合機の省電力化対応を実施

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0531_01_01.html



東日本大震災からの企業の復興支援のためITサポートサービス「IT-Guardians」の無償提供を開始

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/0601_01_01.html

製品情報 : <http://www.konicaminolta.jp/business/service/it-guardians/index.html>



東日本大震災被災者支援へ社宅を無償提供

CSRトピックス : http://www.konicaminolta.jp/about/csr/news/2011/0419_01_01.html